

「こころ」育むまち

1.人権に関する施策

■施策評価シート 1-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	人権
基本方針	人権の尊重		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	1-01-①	施策名	人権文化の醸成	

施策の概要
すべての人の基本的人権の尊重と恒久平和を誓うまちづくりを推進するため、各種の啓発事業や市民活動への支援、人権教育の機会づくり等を進めます。

成果指標(単位)	「人権の尊重」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	35.3	36.3	37.3	38.3
実績値	34.3	35.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は目標値に0.3ポイント足りなかったが、前年度に比べ0.7ポイント増加した。引き続き、教育・啓発の取り組みを積極的に行う必要がある。

施策の達成度評価
市、地域および企業で実施している人権教育・啓発の各事業への参加者から高い評価をいただいております。今後も引き続き、市民ニーズ等社会情勢を踏まえ、効果的な教育・啓発を積極的に行う必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標については、偏差値が前年度に比べ上がっている項目「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」「No.48 私の暮らしている地域には、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも0.5ポイント以上、上がっている結果であった。 本市では、様々な人権課題をテーマに「いのち・愛・人権のつどい」や「人権セミナー」等を開催しており、こうした偏差値が上がっている状況を踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、効果的な教育・啓発となるよう事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取り組みにより、「人権の尊重」について満足している市民の割合は前年度に比べ増加しているが、人権を取り巻く社会情勢の変化に注視しながら、今後の事業の実施については、関係団体等と連携するとともに、事業内容や手法をさらに創意工夫し、その効果を検証し、人権擁護の必要性を広く市民に周知できるよう取り組んでいく必要がある。
「いのち・愛・人権のつどい」や「人権セミナー」等については、様々な人権課題をテーマに実施しており、当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」などは増加しており、「人権の尊重」に深く関わっていることから引き続き、効果的な教育・啓発となるよう事業を実施していく。 また、「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」の指標が、昨年度と比べ減少しており、研修会等の学習機会について周知方法の工夫により、広く情報提供を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
人権擁護平和啓発推進事業	人権政策課	○	戦後80年の節目を迎え、草津市平和祈念のつどいの開催等を通じて、人権尊重と恒久平和の願いを訴え、平和意識の高揚を図ることができたため。
人権と平和を守る都市宣言啓発事業	人権センター	○	「ヤングケアラー」をテーマに、「いのち・愛・人権のつどい」を開催した。アンケート結果から「人権への関心が深まった」という回答が94.7%(未記入を除くと、99.0%)であり、人権意識の醸成を図ることができたため。
人権センター自主事業	人権センター	○	人権セミナーを全8回開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が96.9%(未記入を除くと、98.3%)であり、人権意識の醸成を図ることができたため。
市民のつどい開催事業	人権センター	○	人権尊重の大切さを学び、部落差別の解消をめざして「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が93.5%(未記入を除くと、100%)であり、同和問題への理解を深めることができたため。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
女性のつどい開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放女性のつどい」を「今なおなくならない部落差別～自分に向き合い、行動を変えていく～」をテーマに開催した。アンケート結果から内容について「よく伝わった」「伝わった」という回答が91.7%（未記入を除くと、100%）であり、同和問題への理解を深めることができたため。
青年集会開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放青年集会」を「今日のまなびを明日へつなぐ～わたしからあなたへ～」をテーマに開催した。アンケート結果から内容について「深く考えられた」「考えられた」という回答が75.9%（未記入を除くと、99.3%）であり、同和問題への理解を深めることができたため。
企業内人権啓発推進事業	商工観光労政課	○	草津市企業同和教育推進協議会において5回の研修会の開催、該当啓発活動の参加に加えて、市、商工会議所および公共職業安定所職員で、企業へ訪問等による啓発を実施したことにより、企業の人権意識の向上に寄与したと考えられるため。
人権・同和教育研究大会開催事業	児童生徒支援課	○	全体会での講演や分科会での討議を通じて、多くの参加者がともに人権や同和教育についてあらためて考え、「人権の尊重」に関する意識を高めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
企業啓発指導員配置事業	商工観光労政課
各種研究会参加費負担事務	人権センター
社会同和教育啓発事業	人権センター
社会同和教育推進事務	人権センター
社会同和教育推進者研修事業	人権センター
同和教育推進協議会活動事業	人権センター
同和问题市民講座開設事業	人権センター
社会教育関係団体活動費補助事業	人権センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9					
		偏差値	60.7	61.3					
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	57.7	58.4					
38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	実数	2.3	2.3					
		偏差値	34.3	38.5					
39	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	実数	2.5	2.5					
		偏差値	44.5	39.0					
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	58.4	62.4					
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9					
		偏差値	55.6	61.1					
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1					
		偏差値	57.6	55.5					
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8					
		偏差値	55.6	56.1					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	54.9	56.5					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考		
客観指標No. (令和7年度)			96						

■施策評価シート 1-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	人権
基本方針	人権の尊重		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	1-01-②	施策名	人権の擁護	

施策の概要
市民全体の人権擁護の推進を図るため、すべての部署において人権を根底に据えた施策の推進を図ります。また、人権相談等の人権擁護活動の充実を図ります。

成果指標(単位)	「人権の尊重」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	35.3	36.3	37.3	38.3
実績値	34.3	35.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は、目標値を達成できなかったものの、前年度に比べ0.7ポイント増加している。 引き続き、これまで実施してきた人権教育・啓発や隣保館の活用、パートナーシップ宣誓制度の運用等を通じて、すべての人があたたかい心を持ち合った明るく住みよいまちの実現に向けて取り組む必要がある。

施策の達成度評価
「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底や基本方針に即した各種事業を推進した。また、人権センターおよび各隣保館で行う相談事業等の人権擁護に関する取組の継続により、効果が現れているものと考え。
関連する地域幸福度(Well-Being)指標のうち、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」の3項目は、偏差値が60を上回る結果であった。 これは、本市がこれまで取り組んできた人権に関する取組の積み重ねの結果であり、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き人権に関する取組を進め、すべての人があたたかい心を持ち合った明るく住みよいまちの実現を目指す。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
ロシアによるウクライナ侵攻等により人権や平和が脅かされている現状や、情報技術の発展に伴う人権問題など社会情勢の変化を正しく認識し、人権センターや隣保館等における相談業務を中心に人権の擁護を図っていくとともに、その必要性を広く市民に周知できるよう、引き続き各種事業を展開していく。また、隣保館等においては、令和5年に策定した「開かれた隣保館等の今後のあり方について基本方針」に基づき、広く市民に利用いただくものとする。これらにより、「人権の尊重」について満足している市民の割合を増やす。
偏差値が低い項目である「No.38 私は、見知らぬ他者であっても信頼する」「No.39 私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる」については、人権を尊重するまちづくりを進める上で重要な項目の一部であり、隣保館の事業や人権センターでの人権教育・啓発など、人と人のコミュニケーションを伴う人権事業に引き続き注力することで、市民が真に「人権の尊重」を実感し、結果としてウェルビーイングの向上へとつながるよう取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
人権擁護推進事業	人権政策課	○	令和2年3月改訂の「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底を図り、基本方針に即した各種事業を推進し、また、令和6年度よりパートナーシップ宣誓制度を運用してきたこと等により、人権意識を高めることができたため。
人権擁護推進協議会活動事業	人権センター	○	「いのち・愛・人権のつどい」および「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催し、それぞれのテーマにあわせた人権について考えていただける機会を提供することができたため。
人権センター運営事業	人権センター	○	人権相談業務を通じて人権擁護活動の充実を図ることができたため。

■施策評価シート 1-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
湖南地区職業対策推進事業	商工観光労政課
住民交流啓発事業	人権政策課
新田会館等管理運営事務	人権政策課
西一会館等管理運営事務	人権政策課
橋岡会館等管理運営事務	人権政策課
環境改善維持整備事業	人権政策課
滋賀県市町人権問題連絡会等事務	人権政策課
常盤東総合センター等管理運営事務	人権政策課
人権総合調整推進事務	人権政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9					
		偏差値	60.7	61.3					
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	57.7	58.4					
38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	実数	2.3	2.3					
		偏差値	34.3	38.5					
39	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	実数	2.5	2.5					
		偏差値	44.5	39.0					
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	58.4	62.4					
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9					
		偏差値	55.6	61.1					
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1					
		偏差値	57.6	55.5					
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8					
		偏差値	55.6	56.1					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	54.9	56.5					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)		96								

2.男女共同参画に関する施策

■ 施策評価シート 2-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	2-01-①	施策名	男女共同参画社会の推進	

施策の概要
男女共同参画の意識啓発やDV 対策の強化を図ります。また、困難な問題を抱える女性への支援を行い、男女共同参画社会づくりを推進します。

成果指標(単位)	男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	56.8	58.2	59.6	61.0
実績値	55.4	51.1			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合は、前年度に比べて4.3ポイント減少し、目標を達成することができなかった。これは、育児・介護休業法や女性活躍推進法の改正等の男女ともに活躍できる環境を整える動き、女性支援新法の施行といった困難な問題を抱える女性への支援が進み、職場や生活の中での男女共同参画推進の取組に満足する市民の割合が増加したことにより、一方で、重要と思う市民の割合の減少につながったものと考えられる。

施策の達成度評価
令和3年4月に策定した「第4次草津市男女共同参画推進計画」に基づき、男女共同参画の各種事業を推進した結果、男女共同参画の意識の啓発や困難な問題を抱える女性に必要な支援につなげられるよう相談等の事業を行った。また、法改正等を踏まえ、第4次草津市男女共同参画推進計画後期計画を策定した。引き続き、困難な問題を抱える女性への支援等を行い、男女共同参画社会づくりを推進していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、ほぼ前年度を上回る結果であった。 本市は、男女共同参画の意識啓発、女性活躍推進や相談事業等の取組を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、男女共同参画社会の実現に向け、ウェルビーイングの観点からも、引き続き取り組んでいく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
男女共同参画や女性活躍に関する法制度等の整備は進んでいるものの、依然として固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在しており、令和9年度も、引き続き男女共同参画の意識啓発や女性の活躍推進にかかる事業等、関係機関と連携しながら、国の重点施策等の国の動向に合わせて実施していく。
男女共同参画の取組により、当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標はほぼ前年度を上回る結果であったものの、より男女共同参画や女性活躍推進、困難な問題を抱える方が支援に繋がるよう、ウェルビーイングの観点からも、引き続き取り組んでいく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
男女共同参画推進事業	男女共同参画センター	○	男女共同参画についての意識啓発、女性活躍推進事業、相談支援事業等を実施し、地域幸福度(Well-Being)指標はほぼ前年度を上回る結果であったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

2-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2							
		偏差値	55.2		57.9							
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9							
		偏差値	60.7		61.3							
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	57.7		58.4							
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	58.4		62.4							
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8		2.9							
		偏差値	55.6		61.1							
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1		3.1							
		偏差値	57.6		55.5							
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8							
		偏差値	55.6		56.1							
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	54.9		56.5							
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8		2.9							
		偏差値	54.4		57.1							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)		92	93	96							

■ 施策評価シート 2-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	2-01-②	施策名	女性の活躍推進	

施策の概要
女性の就労・起業支援、市政参画の促進やワーク・ライフ・バランスの啓発に努めます。

成果指標(単位)	市全体の審議会等における女性委員の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	43.3	44.6	45.9	47.2
実績値	42.0	43.4			

成果指標実績に対するコメント
市全体の審議会等における女性委員の割合については、前年度に比べ1.4ポイント増加し、目標を達成することができた。庁内に審議会等への女性の参画についての意識が浸透してきたことや、各所属において団体等への積極的な働きかけを行ったことが要因と考えられる。

施策の達成度評価
第4次草津市男女共同参画推進計画に基づき、女性の活躍推進に関する事業、政策・方針決定過程への女性の参画拡大についての啓発等を実施した。引き続き女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大を目指し、男女がともにライフイベントやキャリア形成を両立できるよう、女性の就労・起業支援、市政参画の促進やワークライフバランスの啓発に努める必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、ほぼ前年度を上回る結果であり、「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」の偏差値は62.4であった。 本市は、女性の活躍推進に関する事業を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大を目指し、取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
あらゆる分野での女性の参画や登用を着実に進めるため、起業や就業支援等の女性の活躍推進に関する事業やワークライフバランスの啓発に取り組む。また、市全体の審議会等における女性委員の参画率については、引き続き庁内部局と連携しながら向上に向け取り組んでいく。
女性の活躍推進に関する取組により、当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、ほぼ前年度を上回る結果であり、また「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」の偏差値は62.4であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大に向け取り組んでいく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
女性活躍推進事業	男女共同参画センター	○	女性活躍推進に関する事業や、審議会等への女性の参画について実施し、目標値を達成することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

2-01-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2							
		偏差値	55.2		57.9							
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9							
		偏差値	60.7		61.3							
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	57.7		58.4							
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	58.4		62.4							
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8		2.9							
		偏差値	55.6		61.1							
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1		3.1							
		偏差値	57.6		55.5							
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8							
		偏差値	55.6		56.1							
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	54.9		56.5							
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8		2.9							
		偏差値	54.4		57.1							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)		92	93	96							

3.学校教育に関する施策

■施策評価シート

3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	こどもの生きる力を育む教育の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	3-01-①	施策名	確かな学力と社会の形成に参画する力の育成	

施策の概要

こどもに基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、学習意欲を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養います。また、スクールESDくさつプロジェクトを推進し、持続可能な社会の創り手を育てるとともに、こどもまんなかの学校づくりを進めます。

成果指標(単位)	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合(%)				
	上段:小学6年生 下段:中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	85.4	85.9	86.4	86.9
実績値	84.9	83.2			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	74.6	75.6	76.6	77.6
実績値	73.6	72.3			

成果指標実績に対するコメント

全国学力・学習状況調査において、成果指標の問い(学びの実生活への活用)に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、前年度に比べて小学6年生で1.7ポイント、中学3年生で1.3ポイント減少し、目標値に達しなかった。スクールESDの推進により、地域課題の解決に向けた主体的・対話的な学びが進む中で、こども達が自らの学びが社会の形成や実生活にどう役立つのかという「学びの有用性」を実感することで、値が向上していくものと考えられる。

施策の達成度評価

全国学力・学習状況調査における、教科に関する調査結果は小中学校ともに国・県平均を上回り、基礎学力の定着が見られる。また、全20小中学校で展開したスクールESDの取組により、地域課題を自分事として捉え、解決を目指す主体的・対話的な学びを推進した結果、成果指標の問いである「授業で学んだことを実生活に結びつけて考え、生かす力」については、目標値に達しなかったものの、小学校では国・県平均を、中学校では県平均を上回る結果となっている。目標達成のため、児童生徒が自らの学びが社会でどう役立つのかを実感し、社会参画への意欲を高めるための、より実践的な教育活動の展開が必要である。

関連する主観指標「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」の偏差値は66.5と高い水準にある。これは「スクールESD」や「地域協働合校」といった地域と連携した本市の特色ある教育環境が、市民から高く評価されていることを示していると考えられる。こうした良好な教育環境の提供は、将来のまちの創り手の育成という点で、市民全体のウェルビーイング向上に大きく寄与していると評価できる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

成果指標である、学びを実生活に結びつけ、生かす力を確実に育むため、スクールESDの取組をさらに深化させる。具体的には、地域住民や企業、大学等と連携をより深め、体験的な学習を充実させ、社会の形成に主体的に参画する資質・能力の育成を図ることで、児童生徒が自らの学びの有用性を実感できる機会を拡充する。あわせて、ICTを活用した「New草津型アクティブ・ラーニング」や「AIDリル」の取組により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、確かな学力の向上に繋げる。

教育環境への高い満足度を維持・向上させるため、「ESDフェスタ」の開催や、各校の学校運営協議会での報告等を通じ、こどもたちが地域課題の解決に向けて学んだ成果を地域へ広く発信する。こうした取組により、「地域全体でこどもを育てる」という意識をさらに醸成し、こどもたちの学びが地域の活性化や市民の幸福感(Well-Being)の向上にもつながる教育活動を展開する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	全小学校で、児童の読みの力を分析・把握し、個々の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を実施することにより、児童の読みの流暢性につながる能力の向上を図ることができたため。
学校教育支援教員配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名の小中連携加配を配置し、授業や児童生徒への支援の充実を図ることで、教育の質の向上に繋がった。また、教員の負担軽減による働き方改革の推進の一助となったため。
スクールESDくさつ推進事業	学校教育課	○	市内全小中学校でスクールESDの取組を推進した。また、奈良教育大学と共催でのESDティーチャー養成講座により、25名のESDティーチャーを認定し、ESDに精通した教員による目的意識の高い指導が可能となったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
英語教育推進事業	学校政策推進課
学力向上重点事業	学校政策推進課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	こどもの生きる力を育む教育の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	3-01-②	施策名	豊かな心と健やかな体の育成	

施策の概要

豊かな心の育成に向けて人権教育を推進するとともに、特別の教科である道徳を要とし、教育活動全体を通じてこどもの道徳性を養います。また、生涯にわたって健康を保持増進し、運動やスポーツに親しめるよう、学校体育の充実を図り、保健教育と学校保健を推進します。

成果指標(単位)	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%) 上段:小学6年生 下段:中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	84.3	84.8	85.3	85.8
実績値	83.8	86.8			
目標値	(※基準値)	79.8	80.8	81.8	82.8
実績値	78.8	83.3			

成果指標実績に対するコメント

全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生が3.0ポイント増加するとともに中学3年生は4.5ポイント増加し、それぞれ目標値を上回った。授業や学校生活において、こどもたちの自己肯定感を高め豊かな心が育まれるよう、児童生徒一人一人に対してきめ細かな支援を行い、成功体験を感じさせる場面を大切にできるよう取り組んできた成果が表れたものと考えらる。

施策の達成度評価

道徳科や人権に関する授業等において児童生徒が主体的に考え学び、また、教職員が関係機関と連携して、児童生徒が有する様々な課題に応じた支援を実施したことにより、児童生徒の人権意識や自己肯定感の向上を図ることができた。また、小中学校における体育推進事業においてスポーツに親しむ機会や部活動の充実を図ることにより、児童生徒の健やかな体の育成を図ることができた。

当該施策に関連する地域幸福度指標は、「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値が50を上回る結果となった。後者の指標に関連する取組として、教育集会所の維持管理が該当する。児童生徒が地域で学び、交流およびつながりを深めることができるよう快適な施設環境を維持することは、学び等の活動を一層推進するうえで、またウェルビーイングの観点からも重要であり、引き続き実施していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

学校、家庭、地域と連携して関係事業を実施することにより、人権意識や道徳性を養ってこれらを土台とした豊かな心を育むとともに、生涯にわたって健康を保持できる健やかな体を育成することができるよう取り組んでいく。また、児童生徒の自己肯定感の向上をめざしてこどもまんなかの理念に沿った学校づくりを推進していくために、教職員や児童生徒がこどもまんなかの理念について理解を深められるよう啓発に取り組んでいく。

小中学校における人権教育、学校保健、学校体育等に関する事業の実施を通じて児童生徒の心身の健全な育成を図り、日々の生活の基礎となる道徳性や社会性の醸成、健康の保持につなげることにより、ウェルビーイングの向上につながるものと考えており、引き続き関係事業の実施に取り組んでいく。

■施策評価シート

3-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
人権教育推進事業	児童生徒支援課	○	県から受託した「生きぬく力の礎育み事業」において、市内4中学校区において各校園所館・センターが連携し、困難な状況にあるこどもと家庭の支援に取り組むことにより、こどもの安心できる居場所づくりや自己肯定感・自己有用感の醸成を図ることができたため。
生徒指導推進事業	児童生徒支援課	○	いじめ問題に関する市の取組に対して、有識者や関係機関からの助言を聴くことにより、取組の見直しや充実につなげることができたため。また、学校に専門家を派遣し、こどもを取り巻く諸課題の早期解決を図ることができたため。
こども読書活動推進事業	学校教育課	○	全小中学校に学校司書を配置し、図書館環境の整備・充実、図書資料を活用した授業支援を行うことにより、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	レッツエンジョイスポーツやなわとびチャレンジ事業を継続することにより、こどものスポーツに親しむ機会を充実させることができたため。また、プールが老朽化する老小小学校において、市立プールを活用した効果的な水泳学習を実施することができたため。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	運動部活動指導員や支援員の配置により、中学校の部活動を充実させたことにより、こどもの体力と健全な心身の醸成を図ることができたため。また、令和6年度と比較し、「運動やスポーツが好き」と回答する生徒の割合が上昇したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食管理運営事業	第二学校給食センター
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食管理運営事業	学校給食センター
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課
体験実践活動推進事業	学校政策推進課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	実数	3.6	3.7			
	偏差値	63.4	66.5			
19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
	偏差値	55.2	57.9			
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】						
客観指標No. (令和7年度)						備考

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-02-①	施策名	多様な教育ニーズへの対応	

施策の概要
多様なニーズを有する子どもへの支援等により、子どもたちの個別最適な学びの機会を確保し、すべての子どもたちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会を確保します

成果指標(単位)	「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童生徒の割合(%) 上段:小学6年生 下段:中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	68.9	69.4	69.9	70.4
実績値	68.4	69.6			
目標値	(※基準値)	67.6	68.1	68.6	69.1
実績値	67.1	75.4			

成果指標実績に対するコメント
全国学力・学習状況調査で「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生が1.2ポイント増加するとともに中学3年生が8.3ポイント増加し、それぞれ目標値を上回った。児童生徒の教育上の多様なニーズに応じたきめ細かな支援を実施することができるよう、支援体制の充実に取り組んできた成果が表れたものと考えられる。

施策の達成度評価
児童生徒の障害等による教育上の課題に応じた指導や支援の実施、外国人児童生徒が日本語での学習やコミュニケーションを図るうえでの通訳・翻訳等の支援、および不登校等の悩みや不安を抱える児童生徒の居場所づくりや社会的自立を図るための支援を総合的に推進したことにより、多様なニーズに適切に対応するとともに、学びの機会の確保につなげることができた。
当該施策に関連する地域幸福度指標は、「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」であり、偏差値が60を上回る結果となった。ウェルビーイングの観点からも、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を確保することが重要であり、引き続き、児童生徒の教育上のニーズに応じたきめ細かな支援を実施していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
学校、家庭等の関係機関と連携して児童生徒の教育上のニーズを的確に把握するとともに、ニーズに応じた支援を適切に実施することができるよう関係事業の実施に取り組んでいく。ニーズの把握については、児童生徒のSOSを積極的にキャッチできるよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによる学校巡回や相談支援を随時実施する。これらの取組を通じて、児童生徒がともに学ぶなかで多様性を認め合い、互いを高め合う協働的な学びの機会の確保につなげていく。
小中学校における教育上の適切な支援を通じて、児童生徒が安心して学び、学校生活を送ることができる環境の確保を図ることにより、ウェルビーイングの向上に資するものと考えており、引き続き関係事業の実施に取り組んでいく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課	○	学校への巡回相談員派遣や通級指導教室に関する業務を行うことにより、個々の教育上のニーズに応じた支援を適切に実施することができたため。
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課	○	外国人児童生徒等への通訳者の派遣や翻訳などの支援、義務教育修了後の進路を見据えた進路説明会や日本の学校説明会を行うことにより、対象となる児童生徒や保護者の疑問や不安の解消を図ることができたため。
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所	○	不登校等の悩みや不安を抱える児童生徒に対して相談対応や体験活動等による支援を実施することにより、児童生徒の自立支援や個別最適な学びの機会の提供をすることができたため。 また、野路教室を南草津駅近傍に開室して3拠点体制としたことにより、自宅からの距離を理由とした通室の難しさの解消を図るとともに、通室希望者の増加に対応できる環境を整備することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課
児童就学援助費	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助費	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	3-02-②	施策名	教職員の指導力と学校経営の充実	

施策の概要

学校における働き方改革を推進し、子どもと教職員のウェルビーイングの向上を図ります。また、各種研修講座の開催等により、教職員の指導力の向上を図るとともに、スクールソーシャルワーカーの配置等によりチーム学校の体制充実を図ります。さらに、コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。

成果指標(単位)	「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図るとともに、保護者や地域への積極的な情報発信ができていく(1(低)～5(高)の5段階評価)」の平均値				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	4.4	4.4	4.4	4.5
実績値	4.2	4.1			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の実績値は目標値に到達しなかったものの、達成している学校も一定あり、コミュニティ・スクールくさつを通じて地域やこどもの実態を共有し、熟識につなげることで、学校運営の充実や保護者・地域との連携を着実に進めることができた。目標達成に向けては、コミュニティ・スクールくさつの取組に対する学校の理解促進と、保護者および地域への効果的な情報発信について、さらなる検討が必要である。

施策の達成度評価

学校問題サポートチーム運営やスクールサポートスタッフ配置等、校内外の人材を活かした連携を通じて、多様化・複雑化する困難等に対応する“チーム学校”の指導体制充実を図るとともに、教職員の負担軽減に向けた組織体制の強化により、働き方改革を推進することができた。また、学習指導力向上や学校現場の課題への対応力向上のため、教職員向けの研修実施等により、教職員の資質向上や各校での体制づくりの支援を進めることができた。

地域幸福度(Well-Being)指標における「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」という市民意識は、コミュニティ・スクール推進による学校運営の透明化や地域連携の深化と密接に関連している。コミュニティ・スクールくさつを通じた学校と地域の協働をさらに促進し、地域全体で学校を支える体制を強化することが、地域住民が実感する教育環境の満足度向上、ひいては地域幸福度指標の改善に繋がるものである。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

“チーム学校”の体制づくりを継続し、効果的に連携を深めるとともに、教職員の指導力向上および対応力強化のため、課題を捉えた研修の充実を図る。保護者や地域、関係機関と連携し、教職員の働き方改革を含むさまざまな課題に対して組織的かつ継続的に対応できる学校経営を推進するため、保護者や地域への情報発信やPDCAサイクルにより、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。

地域幸福度(Well-Being)指標「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」の向上に寄与するため、令和9年度においては、以下の取り組みを推進する。
コミュニティ・スクールを通じた学校と地域の連携をさらに強化し、地域住民が学校教育に主体的に参画できる機会を拡充する。また、学校運営の透明性を高め、保護者や地域住民が学校の取り組みを深く理解し、教育環境に対する信頼感や安心感を醸成する活動を強化する。質の高い教育環境を提供するため、教職員の指導力向上とウェルビーイングの向上施策を一層推進し、学校に対する満足度を高めることで、地域全体の教育環境の質向上を図る。

■施策評価シート

3-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、協議において熟議を重ねる意識を高めながら、学校・保護者・地域が継続的に関わる協働体制の構築を図り、スクールESDくさつの推進に向けても、各校が工夫し、地域と連携した取組を進められたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名以上のスクール・サポート・スタッフを配置し、採点業務や児童生徒の支援の充実を図ることで、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進の一助となったため。
教職員研修事業	学校教育課	○	経験年数に応じた研修会や各教科等部会での授業研究会、講演会、ESDマネジメント会議などを行い、教職員の実践力を高め、人材育成を行ったため。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校だけでの解決が困難な事案への対応にあたり、弁護士や社会福祉士からの助言を得ることにより、最適な対応を実施して問題の早期解決や深刻化の防止を図ることができたため。
講座開設事業	教育研究所	○	学校教育に関する幅広いテーマを取り入れて研修講座を実施することにより、教員が知識やスキルを習得して専門性や指導力を高めることができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	教員の授業づくりやICT活用に関する個別指導および相談対応による支援を行うことにより、教員が授業力やICT活用力に関する知識やスキルを習得して能力を向上させることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課
学校運営支援事業	教育研究所
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
学校運営支援事業	学校政策推進課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
教職員管理事務	学校教育課
スクール・サポート・スタッフ配置事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	実数	3.6	3.5			
	偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実	

施策の概要 老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な長寿命化等の改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、1人1台端末の効果的な活用を図るとともに、校務DXを推進し、学校内における業務効率を向上させます。

成果指標(単位)	非構造部材の耐震化実施校率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	75	80	80	85
実績値	75	75			

成果指標実績に対するコメント 矢倉小学校の非構造部材の耐震対策工事を計画どおり実施したことにより、目標値を達成することができた。なお、当該成果指標については、2か年(令和7年度と令和8年度)に分けて工事を実施するため、令和6年度の実績値と同値としている。

施策の達成度評価 小中学校大規模改修事業等を実施した結果、小中学校施設・設備の計画的な改修・更新を図ることができた。また、非構造部材の耐震対策工事を実施した結果、学校施設の安全性を高めることができた。さらに、全小中学校で1人1台端末の更新により学習環境の向上を図るとともに、クラウド活用を推進するため、学習系・校務系ネットワークの統合、校務用端末と指導者用端末の統合、校務支援システムの更新を一体的に実施した結果、職員室に限定されずに教職員がどこでも校務ができるロケーションフリー化等が進み、校務DXを推進することができた。引き続き、学校施設の改修や非構造部材の耐震化、ICT環境整備および利活用推進等に取り組み、教育力向上につながる環境整備の充実を図っていく。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」「No.17 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、No.16とNo.17は偏差値60を、No.19についても偏差値57を上回る結果であった。本市は、これまでからもハード・ソフトの両面から教育環境の充実に向けた取組を進めているところであり、こうした偏差値が高い水準であったこと踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、校舎の改修や耐震化等の施設整備、必要なICT環境整備に取り組んでいく。
--

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 引き続き、国の交付金を活用しながら、校舎の改修や非構造部材の耐震化、ICT環境整備および利活用推進等に取り組み、教育力向上につながる環境整備の充実を図る。 教育環境の充実を図ることは、「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている」「No.17 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも寄与する取組であることから、こうした指標が高い水準であった現状を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも小中学校大規模改修事業や学校ICT推進事業等を実施していく。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改修事業	教育総務課	○	長寿命化改良事業に係る予防改修工事や耐力度調査、実施設計業務に加え、トイレ改修工事等を計画どおり実施することができたため。
中学校大規模改修事業	教育総務課	○	トイレ改修工事やグラウンド改修工事を計画どおり実施することができたため。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	1人1台端末の更新整備を完了するとともに、AI型ドリルの更新に向け、公募型プロポーザルによる選定を実施することができたため。また、クラウド活用推進のため、学習系と校務系のネットワーク統合を実現する教育ネットワーク更新を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	クラウド上での校務実施を前提とした校務DX実現のため、校務用端末、校務支援システムを更新し、職員室以外でも校務ができるロケーションフリー化を進めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
16	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	実数	3.6		3.7							
		偏差値	63.4		66.5							
17	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	実数	3.7		3.7							
		偏差値	60.6		62.3							
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2							
		偏差値	55.2		57.9							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)			28	29							

4.生涯学習・スポーツ に関する施策

■ 施策評価シート 4-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	4-01-①	施策名	家庭・地域での学びの充実	

施策の概要
学校等の学習活動を地域の大人が支えるとともに、地域人材等による学校教育および家庭教育の支援を進め、子どもと大人がともに学び育つまちづくりを推進します。 また、自ら考え、行動できる人材の育成に取り組むことを通し、地域の担い手づくり、持続可能な地域づくりを目指します。

成果指標(単位)	地域と学校、家庭が協働し、地域の特色を生かして、子どもと大人がともに学びを進める「地域協働高校」の推進に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	19.9	20.6	21.3	22
実績値	19.2	19.4			

成果指標実績に対するコメント
市内の14小学校および6中学校全てにおいて、学校・家庭・地域が連携して地域協働高校を実施しており、子どもと大人が学び合い、共に育つ地域学習社会づくりを推進している。成果指標については目標値に達していないものの、前年度に比べ0.2ポイント増加しており、全小中学校において地域課題解決型の事業展開を進めたこと、地域において子どもが主体となって自分の意見を実践につなげる事業展開の検討・モデル事業を実施したことで、自ら考え行動できる子どもの育成に一定の成果が見られたと考えられる。

施策の達成度評価
地域協働高校では、学校・地域・家庭が協働して地域の人材や資源を積極的に活用し、子どもと大人が多種多様な活動を実施しており、様々な経験や知識を持った地域の大人との交流を通じて、子どもの豊かな心の成長や大人自身のやりがいに繋げることができた。また、学校や地域において子どもの視点に立った地域課題解決型の取組を進めることにより、地域社会の創り手の育成につながった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」は偏差値74.7、「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」は偏差値55.5という結果であった。「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」の偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、地域協働高校への市民参加が盛んになるよう、事業の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市内全小中学校に配置している地域コーディネーターを活用することで、新たな地域の教育資源や人材を活かし、様々な地域課題の解決に子どもたちが主体的にかかわることで、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることを目指した取組を実施する。また、学校や地域において子どもと大人が共に学びあうことを通して、自ら考え、行動できる人材の育成に取り組むことで、地域で学びつながりの向上を図り、地域の担い手づくりや持続可能な地域づくりを目指す。
「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」の指標が「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」の指標より低い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、地域協働高校の取組以外にも、家庭教育推進事業などの実施により地域においても学びたいことを学べる機会を提供していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協働高校推進事業	生涯学習課	○	市内全小中学校で学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習の事業を実施することで、子どもと大人がともに学び、子どもの意見を実践につなげ、自ら考え行動できる人材の育成に取り組むことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
家庭教育推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2					
		偏差値	73.5	74.7					
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1					
		偏差値	57.6	55.5					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	4-01-②	施策名	生涯学習機会の充実	

施策の概要

大学等と連携した幅広い学習機会の提供や、学習ボランティアの育成・活用による学びの還元を図ることで、誰もが生涯にわたって学び、活躍できる環境づくりを進めます。
また、全世代・全市域における読書活動を推進するとともに、多種多様な図書資料の収集・提供を基盤とした図書館サービスの充実に努め、新たな利用者の拡大を行うことで、読書のまちづくりを推進します。

成果指標(単位)	「生涯学習の推進」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	25.0	25.9	26.8	27.7
実績値	24.1	24.0			

成果指標実績に対するコメント

立命館大学との共催による「立命館×草津市びわこ講座」等により、市民の学習意欲の喚起・学習機会を確保し、図書館においては、読書機会の充実に引き続き努め、就学前施設への巡回配本や移動図書館車での小学校への巡回等、読書のまち推進事業を進めた結果、成果指標実績値の維持に繋がった。
一方、市民の価値観の多様化により講座内容のニーズも変容してきているものと考えられる。

施策の達成度評価

「立命館×草津市びわこ講座」では、対面講座形式とオンデマンド配信を行い、市民の学習機会の確保に努めたほか、令和7年度は「リカレントコース」と「教養コース」の2コース制とし、講座数を増やすことで幅広いカテゴリーの講義を実施した結果、現役世代の受講者が倍増する等、一定の効果が見られた。また、絵本の交換会やサテライト機能の推進等の読書のまち推進事業を継続して実施し、より多くの市民が本と出合う機会を創出したほか、全年齢、全市域での図書館サービスの充実に努めた結果、読書機会の創出に繋がった。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「N0.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。
本市は、立命館大学と連携し、大学の知的資源を地域の生涯学習支援に生かし、リカレント教育の機会も提供しているほか、読書のまち推進事業として市民のニーズに即した事業を行っている。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き市民の講座の受講意欲や読書活動・図書館の利用意欲を喚起できるような取組の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

「立命館×草津市びわこ講座」については、受講者アンケートの結果等に基づき、学習意欲を喚起する魅力的な講座タイトルを設け、実施する。また、学習ボランティア活動については、引き続き「ゆうゆうびとバンク」の発行等により情報提供を図るほか、中間支援組織等との連携により、ボランティア団体の活動機会の創出を行い、その活用につなげるなど、広く学習機会の提供を行う。また「草津市読書のまち推進計画」に基づき、さらなる読書機会の充実を図るために、図書館の新規利用者の拡大を目指すとともに、全年齢、全市域での読書機会の充実を図る。

図書館サービスや「立命館×草津市びわこ講座」は、市民の知識を豊かにしているだけでなく、図書館の利用や講座の受講を通じて「N0.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」にかかるウェルビーイングの向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き生涯学習機会の充実に努めるため、市民のニーズに即した読書のまち推進事業や「立命館×草津市びわこ講座」等の事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会教育推進事業	生涯学習課	○	立命館大学との共催により「立命館×草津市びわこ講座」を実施し、2コース制で幅広い内容の講座を実施することで、新たな受講者の獲得ができ、より多くの市民へ学習機会を提供することができたため。また、社会教育委員会議においては、地域でこどもが自ら意見を出し、多世代が関わり合うことで持続可能な地域づくりを目指す課題解決型の取組について検討することができたため。
学習ボランティア推進事業	生涯学習課	○	学習ボランティア人材バンク冊子「ゆうゆうびとバンク」の発行やバンク登録者の活動の場の提供支援・バンクや登録者について紹介するバンク紹介動画により、学習ボランティア活動の推進を図ることができたため。
草津市読書のまち推進事業	生涯学習課	○	絵本の交換会や図書館のサテライト機能の推進等の実施により、幼少期に多くの本と出会う機会を増やすことや、市域において読書に親しむ層を広げることができたため。
図書館運営事業	図書館	○	読書のまち推進事業を継続して実施し、市の全域での図書館サービスを実施するとともに、今まで図書館を利用したことがない人にも来館のきっかけとなるように乳幼児から高齢者まで、全世代別に工夫したイベントを実施するなど、図書館利用の促進を図ることができたため。
南草津図書館運営事業	南草津図書館	○	

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
図書館施設管理事業	図書館
三ツ池計画予定地管理事業	生涯学習課
南草津図書館施設管理事業	南草津図書館

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1					
		偏差値	57.6	55.5					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)			32	111	112				

■施策評価シート

4-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-02-①	施策名	スポーツ活動の推進	

施策の概要

生涯スポーツや競技スポーツ、健康づくりなど、多様な市民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会・体育振興会・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・大学・企業等との連携を図り、協働によるスポーツ推進体制を強化することで、各種事業を効率的・効果的に取り組みます。

成果指標(単位)	20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	65	66	67	68
実績値	58.1	56.4			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率の割合は、前年度に比べて1.7ポイント減少した。国スポ・障スポの開催もあり、市内の運動・スポーツに対する気運は高まったといえるが、実施率としては上昇しなかったため、幅広い層に向けて、より身近に運動・スポーツに親しむ機会の創出に取り組む必要があると考える。

施策の達成度評価

スポーツ関係団体との連携により、市民がスポーツに親しむことができるよう、各種イベントや教室等を開催することで、運動・スポーツに親しむ機会や環境を提供することができた。一方で目標値には届いていないことから、さらに市民が積極的に運動・スポーツに取り組むことができるよう、各種事業の周知啓発に取り組む必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、令和6年度から令和7年度にかけての上昇幅は2.7ポイントであった。また、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇している。令和7年度は、国スポ・障スポの開催や各種イベントや教室等による「スポーツ活動の推進」の施策を推進しており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からもスポーツ実施率の向上に向けた取組の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

市民が積極的に運動・スポーツに取り組むことができるよう、第3期草津市スポーツ推進計画に掲げる施策を推進しながら、各種スポーツイベントや教室等、市民が運動・スポーツに関わることのできる機会の充実を図る。

スポーツ実施率の向上に向けた取り組みは、スポーツ活動の推進を図るだけでなく、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続きウェルビーイング向上の観点からも、各種スポーツイベントや教室等、市民がスポーツに関わることのできる機会の充実を図り、スポーツ活動を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市民スポーツ大会開催費補助事業	スポーツ推進課	○	市民スポーツ大会の開催を通じて、市民が競技スポーツに取り組み、また応援する機会を設けることで期待どおりの成果を得ることができたため。
県民スポーツ大会等出場支援補助事業	スポーツ推進課	○	県民スポーツ大会出場に対する支援を行うことで、市民の競技力向上につながり、県内4位を獲得し、期待どおりの成果を得ることができたため。
学校体育施設開放推進事業	スポーツ推進課	○	適切な維持管理を行い、市民が身近にスポーツに取り組むことのできる環境を提供し、期待どおりの成果を得ることができたため。
国スポ・障スポ開催事業	スポーツ推進課	○	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を開催し、「する」、「みる」、「支える」、「知る」といったスポーツに対する多様な関わり方を創出したことで、まちの活性化につなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策評価シート 4-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
駅伝競走大会開催費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ協会事業費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ少年団育成事業	スポーツ推進課
スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課
スポーツ推進計画事業	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会運営事業	スポーツ推進課
総合型地域スポーツクラブ補助事業	スポーツ推進課
チャレンジスポーツデー開催費補助金事務	スポーツ推進課
各種スポーツ団体活動支援事業	スポーツ推進課
各種大会出場者激励事業	スポーツ推進課
各種大会負担金事務	スポーツ推進課
各種大会補助金事務	スポーツ推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		31						

■施策評価シート

4-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-02-②	施策名	スポーツ環境の充実	

施策の概要

社会体育施設等の計画的な整備や適正な維持管理を行い、誰もが快適にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。また、指導者の育成やボランティア機会の充実を図り、スポーツを支える人材を育成することで、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりに取り組みます。

成果指標(単位)	社会体育施設利用者満足度(ポイント)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3.72	3.81	3.9	4.0
実績値	3.63	3.78			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の社会体育施設利用者満足度の全体平均は、令和6年度から0.15ポイント上昇し、目標値を上回ることができた。引き続き、指定管理者と連携し利用者の満足度向上に取り組む必要がある。

施策の達成度評価

施設の適切な維持管理を行うことで、スポーツ教室や講習会、スポーツ大会等を開催し、市民が運動・スポーツに親しむ環境を提供することができた。引き続き、指定管理者と連携し、利用者満足度の向上に取り組む必要がある。

令和6年度から令和7年度にかけて、最も偏差値が上昇した当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.13 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」であり、上昇幅は4.3ポイントであった。また、当該指標の実数についても0.2ポイント上昇している。令和7年度は、老朽化が進む施設がある中、計画的な改修や維持管理に取り組むなど、「スポーツ環境の充実」の施策を推進してきており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からもさらに利用者満足度の向上に繋がる取組を推進する。

評価に基づいた令和9年度の実施についての方針

老朽化が進む施設もあるが、利用者が快適に運動・スポーツを行うことができる環境を確保できるよう、計画的に整備・改修等を実施するとともに、引き続き、指定管理者と連携し、利用者の満足度向上に取り組む。

利用者満足度の向上に繋がる取組は、スポーツの充実を図るだけでなく、「No.13 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」や「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続きウェルビーイング向上の観点からも、施設の計画的な改修や維持管理をはじめ、利用者満足度の向上に繋がる取組を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会体育施設管理運営事業	スポーツ推進課	○	各社会体育施設の計画的な修繕や、適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
草津市立プール運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、大規模大会の誘致やアスリートの育成にも寄与し、期待どおりの成果を得ることができたため。
弾正公園運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
弾正公園運営事業	公園緑地課		
野村公園運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営し、プロスポーツの誘致やにぎわい創出にも取り組んだ結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
(仮称)新志津運動公園整備事業	公園緑地課	○	滋賀県自然環境保全条例第23条に基づく、自然環境保全協定の締結に向け、自然環境影響評価調査業務に着手するなど、期待どおりの成果があったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8	3.0				
		偏差値	54.3	58.6				
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2				
		偏差値	55.2	57.9				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								
客観指標No. (令和7年度)			20	31				備考

5.歴史・文化に関する施策

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-①	施策名	文化財の保存の推進	

施策の概要

貴重な歴史資産を次世代へ守り伝えるため、文化財調査を推進するとともに、国指定史跡の保存整備や文化財指定の推進、伝承者への支援など、積極的に保存・継承を進めます。

成果指標(単位)	文化財指定件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	95	95	96	96
実績値	94	96			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度には有形文化財(彫刻2件)について市の指定文化財を追加することができ、市にとって新たに貴重な歴史資産を守り・活用し、次世代へと継承する基盤とすることができた。今後も継続して、市内の歴史資産の実態を解明し、その成果の公開と活用を進めていく。

施策の達成度評価

発掘調査の需要は多いものの、滞りなく調査事業を実施し、遺跡の実態を適正に記録保存することができた。また、本市を代表する歴史資産である史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡の整備を計画的に進捗できた。このほか、所有者や保存会等が行う指定文化財の日常管理や修理・民俗文化財継承のための保護助成などを通し、文化財の保存のための取り組みを推進することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、「次世代を担うこども・若者へ、より良き環境・文化を残していきたい」との市民意識が高いことを示している。このことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、本施策「文化財の保存と活用」の目的は、大きく重なり合う因子要素であることから、今後も、市民にとって大切な歴史資産を後世へと引き継げる事業の展開を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

史跡整備については、関係者と調整を図りながら、計画的に実施していく必要がある。また、今後も市内一円の開発事業等に伴う発掘調査の需要は続くことが想定され、適正な調査事業を継続していくよう努める。貴重な文化財を次世代に守り伝えていくため、文化財の指定や所有者等への支援についても、これまで同様、関係機関と連携しながら取り組んでいく。

令和9年度の実施は、高い水準にある地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が上昇につながるよう、市民(個人・各種団体・地域など)が、自らの身近にある「歴史的資産」の魅力やその大切さを感じられるよう「文化財の保存と活用に係る事業(調査・史跡整備・保護助成事業など)」の事業を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	歴史文化財課	○	試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施した結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	歴史文化財課	○	開発等に伴う発掘調査や整理業務を計画どおり進めた結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
史跡草津宿本陣整備事業	歴史文化財課	○	「史跡草津宿本陣整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について、予算および事業計画どおり事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
史跡芦浦観音寺跡整備事業	歴史文化財課	○	「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について予算および事業計画どおりの事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
文化財保護助成事業	歴史文化財課	○	指定文化財の所有者・保存会に対し適正に保護助成を行った結果、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
文化財保護推進事業	歴史文化財課
未指定文化財調査事業	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業	歴史文化財課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)										

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-②	施策名	歴史文化の活用の推進	

施策の概要
文化財を生かしたまちづくりを推進し、市民のふるさと意識を高めるため、「草津市文化財保存活用地域計画」に基づき、史跡や民俗芸能、歴史的建造物など地域で育まれた豊かな歴史文化の価値や魅力を積極的に発信するとともに、地域の歴史文化に触れ、親しんでもらえる機会を創出します。

成果指標(単位)	文化財の保存・活用啓発活動の定員に対する応募者数(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	88.6	92.4	96.2	100
実績値	84.8	89.3			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の成果指標の実績値が目標値を超えて89.3%に達することが出来た。これは発掘調査成果の現地見学会や史跡草津宿本陣の魅力を活かした衣装体験やフォトレッスンなどのイベントを開催した事などが影響している。一方で、他の多くの事業についても、当初の見込み通りの応募者数で推移しており、本市の文化財の啓発事業に多くの市民の関心があったものとする。

施策の達成度評価
史跡草津宿本陣は令和6年度に耐震工事を行ったため10ヶ月にわたり休館したが、令和7年4月から一般公開を再開し、加えて「歴史文化活用プロジェクトチーム提案」に基づいた新たな事業を実施することができた。「草津市文化財保存活用地域計画」に基づく多様な普及啓発事業についても、年間を通じ継続的に実施できたため、市民の歴史・文化への関心度が上がった。また、「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定や資料館の用地取得に向けた取り組みなど、着実に事業を進めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、次世代を担うこども・若者へ、より良い環境・文化を残していきたいといった市民意識の高さを示し、ウェルビーイングの観点からも、本施策「歴史文化の活用の推進」の目的は大きく重なり合う因子であることから、今後も引き続き、市民にとって大切な歴史資産を後世へ引き継げる事業展開を図りたい。また、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数は平均的数値を示し、前年度比較において数値が上昇しており、「史跡草津宿本陣」「草津宿街道交流館」が誰にとっても親しみやすく、楽しめる学習の場として利用される事業運営を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
文化財を活かしたまちづくり意識や市民のふるさと意識の向上を図る動機付け事業となりうる「草津市の歴史・文化や身近な文化財」について、その魅力を地域・学校・関連団体等と連携しながら、発信・学習できる普及啓発事業の企画・実践を図りたい。また、「(仮称)草津市歴史資料館」の整備に向けて、策定中の「整備基本計画」に基づき設計等の事業の進捗を図りたい。
令和9年度の取組は、高い水準にある地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が維持または上昇つながるよう、市民が身近にある「歴史的資産」の魅力と大切を感じられる「文化財普及啓発事業」を実施する。また、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数値の向上を図るため、市民が歴史文化について親しみをもち、深く理解・学習する場であることを念頭に、(仮称)歴史資料館整備事業を推進するとともに、「史跡草津宿本陣」・「草津宿街道交流館」の管理運営事業の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
文化財普及啓発事業	歴史文化財課	○	イベントや講座・ワークショップの開催など文化財に関する普及啓発事業に務めた結果、文化財の活用を図ることができた。
(仮称)歴史資料館整備事業	歴史文化財課	○	「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定を進めた結果、(仮称)草津市歴史資料館の開設に向けた取り組みを推進することができた。
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	○	歴史文化活用プロジェクトで提案のあった「こども本陣クラブ(ほんじん博士に改称)」、「マイクラ本陣」などの各種事業を関係団体と連携し実施した結果、来館者の増加につなげることができた。
草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	○	SNS等のメディアを活用し交流館事業等の情報発信件数を前年より増加させた結果、来館者の増加につなげることができた。

■施策評価シート5-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1					
		偏差値	80.0	80.0					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		33							

■施策評価シート

5-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化・芸術の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	5-02-①	施策名	文化・芸術活動の推進

施策の概要

文化振興条例および計画に基づいて、多様な主体と連携し、地域の文化的資産を活用しながら各文化振興施策を展開し、市民の日々の創作活動の奨励と様々な発表・展示・鑑賞の機会と場の提供によって、より一層の文化・芸術の振興を図ります。
また、文化施設の適切な維持管理と活用を行います。

成果指標(単位)	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	26.5	27	28	28.7
実績値	26.3	26.7			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合は前年度に比べ、0.4%増加し目標値を達成することができた。草津市美術展覧会やアートフェスタくさつの実施に加えて、新たに初心者向けの文化・芸術の連続講座を実施し、文化芸術に触れる機会を増やすなど、文化芸術の振興に向けた取組が市民の評価に表れたものとする。

施策の達成度評価

草津市美術展覧会、アートフェスタくさつ、文化芸術担い手育成事業、草津キッズシネマ塾など、多様な事業を展開した結果、市民の文化・芸術の振興に一定の効果が見られた。今後、これらの事業がより効果的なものとなるよう、地元との連携をより強化した取組、地域の魅力の再発見につながるような取組を展開するなど、さらに工夫を凝らした事業を実施していく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」があり、いずれも偏差値は50を上回る結果であった。
本市では美術展覧会や文化芸術担い手育成事業などの事業を実施することにより、文化芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場の提供に取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの事業を円滑に実施するとともに、誰でも気軽に楽しくアートを体感できる講座の地元での展開、文化施設の適切な維持管理を行うことなどにより、文化・芸術活動の体験の場、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場を拡充させ、さらなる市民の文化・芸術の振興を図る。

文化・芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供する取組は、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。
また、文化施設の適切な維持管理の取組は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。
これらの指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化振興施策の推進と文化施設の適切な維持管理に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	○	市民に作品発表・芸術鑑賞の機会を提供するとともに、新たに実行委員によるワークショップの実施を通じて、芸術体験の場を提供することできたため。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	アートフェスタくさつや草津キッズシネマ塾などに加え、新たに文化芸術担い手育成事業等の事業実施により、文化芸術に触れる機会を充実させることができたため。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	青少年俳句大会、ふるさと草津俳句会、宗鑑忌俳句大会、俳句入門講座の開催により、市民が俳句に親しむ多くの機会を提供できたため。
文化ホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、計画的な修繕の実施など、適切な施設管理を行うとともに、令和7年度はクレアホール10周年事業としてコンサートを開催するなど、積極的な文化事業の展開が図れたため。

■ 施策評価シート 5-02-①

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考
客観指標No. (令和7年度)		104					